一般財団法人 家電製品協会
Association for Electric Home Appliances

2022 年4月7日

月刊 AEHA通信　2022 年4月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

◇トピックス ： 第 18 回評議員会の開催
◇主な委員会活動等 ： 第 12 回省エネルギー対策委員会他
◇協会インフォメーション ： 役員の異動他
◇定点観測データ ： 家電リサイクル法対象4品目引取実績他
◇溜池ボイス ： 日印国交 70 年

■□■ トピックス ■□■

◆第 18 回評議員会の開催（３月 15 日）

３月３日の第 19 回理事会での審議を受けて、３月 15 日に第 18 回評議員会を開催しました。冒頭、互選により羽鳥評議員が議長に選出され、議事進行を務めていただきました。来賓の経済産業省情報産業課村上課長補佐にご挨拶をいただいた後、議案事項の理事の選任について審議し、４月１日付にて大隅英貴理事（日立グローバルライフソリューションズ株式会社）と、宮地晋治理事（パナソニック株式会社）が選任されました。
その後、伊藤専務理事より 2022 年度事業計画及び収支予算に関する報告等を行いました。

左から、立花評議員、羽鳥議長、伊藤専務理事

経産省村上補佐ご挨拶

■□■主な委員会活動等■□■

＜家電業務部関連＞

◆第 12 回 省エネルギー対策委員会（3月 24 日）

2021 年度第 12 回の省エネルギー対策委員会を開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会
及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
2. 省エネ家電温暖化防止啓発WG等の活動報告
3. 第9回おすすめ BOOK2022 編集会議

○第 12 回 省エネ家電温暖化防止啓発WG（3月 14 日）

2021 年度第 12 回の省エネ家電温暖化防止啓発WGを開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 省エネ家電 de スマートライフ2月度アクセス報告
2. インフォメーション、ピックアップの掲載内容について
3. 2022 年度版省エネサイト改善について
4. 消費者教育教材資料表彰 2022 への応募について

◆第4回 製品安全委員会(3月 25 日）

本委員会は、製品ライフサイクル全般にわたる製品安全確保の取り組み、個社では解決の難しい共通課題についての調査・研究、並びに施策の実施を目的として活動をおこなっています。

1. 3月 10 日 技術法規WGの電気用品安全法型式区分合理化に関する要望書提出について
2. 2021 年度委員会活動実績と 2022 年度活動計画について
3. 経済産業省他の外部委員会報告
(1) 3月2日 リコール等製品安全広報効果実態調査委員会
(2) 3月9日 第2層サーバーセキュリティー対策検討タスクフォース
(3) 3月 25 日(METI)産業構造審議会製品安全小委員会
4. 事故情報関連
(1) 2020 年度 事故情報報告書について
(2) リコール実施した企業からの報告

◆第8回 UD技術委員会（3月4日）

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

1. 2021 年活動実績と 2022 年度活動計画、日程、運営体制について
2. JIS S 0013「高齢者・障害者配慮設計指針-消費生活製品の報知音」改正版公示と、(家製協)報知音に関するガイドライン第2版の改訂要否について
3. 報知機能評価ツール(アプリ)開発と開示方法の検討

◆第4回 消費者啓発委員会（3月 10 日）

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深め、また製品安全ページの充実を図り、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

1. 2021 年活動実績と 2022 年度活動計画、日程、運営体制について
2. 製品安全ページの更新について
3. 消費生活センター向けQ＆Aページの改訂について
4. 啓発講座のDX化推進について

◆第 11 回　流通EDI標準化推進委員会（3月9日）

2021 年度第 11 回の流通EDI標準化推進委員会を開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 啓発・PR関連及び商品情報検討WG活動報告
2. 次世代EDI研究WG活動報告
   （ISDN終了に伴う調査方法の検討）
3. 2022 年度事業計画について
4. 流通企業動向について

＜環境部関連＞

◆第 51 回　製品アセスメント委員会（3月 18 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨（案）確認
2. 2021 年度　事業計画推進状況について
3. 2021 年度　製品アセスメント事例原稿審査
4. 2022 年度　事業計画（案）について

○2021 年度　第 10 回　家電製品素材構成分析WG（3月 16 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨（案）確認
2. 活動計画の進捗状況について

◆第5回　2021 年度家電リサイクル委員会（3月 22 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 家電リサイクル券センターからの報告について（報告事項）
   (1) RKC情報システムセンターサーバリプレースについて
   (2) 新券の導入状況について
   (3) SYの品質向上について
   (4) 型番検索の Web 公開について
2. スケジュールについて

○第 11 回　2021 年度普及広報WG（3月 25 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 新記事型コンテンツ（案）について
2. 「3秒でえらべる家電の捨て方」のSEO対策・リスティング広告の状況報告
3. 2022 年度普及広報WG事業計画(案)について
4. スケジュール・その他

○第6回　2021 年度版家電リサイクル年次報告書作成WG（3月 25 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. データ収集状況について
2. スケジュール・その他

＜事業協力室＞

◆不法投棄未然防止事業および離島対策事業協力サイトの改善

「不法投棄未然防止協力_事例紹介」の改善用途別（事業別・地域別）の検索機能を追加しました。（2022 年３月 31 日公開）
https://www.aeha.or.jp/recycle/example/

＜RKC関連＞

◆第６回　システムインフラ対策ＷＧ（３月８日）

主な審議、報告事項は以下のとおりです。
１. 家電リサイクル券システムセンターサーバリプレースについて
２. 家電リサイクル券システム　障害対応報告
３. その他（郵便局券支払方法変更対応、ＳＹＲＰ端末システムの更新等）

◆第 11 回　ＳＹワーキング（３月８日）

主な審議、報告事項は以下のとおりです。
1. 指定引取場所の業務削減・効率化
2. 排出者等の利便性向上
3. 指定引取場所の業務品質向上
4. その他（型番検索の Web 化、指定引取場所変更情報等）

＜認定センター関連＞

◆スマートマスター推進委員会　テキスト執筆ＷＧ（３月 11 日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。
1. 認定センター報告
2. 各章の原稿内容確認及びフェーズあわせ
（1）スマートハウス概論・コア知識
（2）スマートハウスを支える機器・技術の基礎

◆３月度 情報発信・教育部会（３月 22 日）

今後の試験問題作成やスマートマスター参考書作成の活動スケジュールならびに、今後の情報収集ポイントなどについて審議しました。
1. 近況報告
2. スマートマスター　2022 年度参考書　スケジュール
3. 2021 年度　情報収集概要
4. ３月情報　収集状況
5. マイスタディ講座「ここが要点」４月テーマ案
6. 2022 年度　日程案

■□■協会インフォメーション■□■

◆役員の異動

	日　付	氏　　名		社名・団体名
退　任	3月31日	理　事	谷口　潤	日立グローバルライフソリューションズ株式会社 取締役社長
	3月31日	理　事	河野　明	パナソニック株式会社 くらし事業本部　副本部長
就　任	4月 1日	理　事	大隅　英貴	日立グローバルライフソリューションズ株式会社 取締役社長
	4月 1日	理　事	宮地　晋治	パナソニック株式会社　執行役員 コンシューマーマーケティングジャパン　本部長

◆人事異動

日　付	氏　名	新	旧
2022年3月31日	鍵矢　浩司	東芝ライフスタイル株式会社	事業協力室
2022年4月1日	沖本　満男	認定センター	日立グローバルライフソリューションズ 株式会社
2022年4月1日	山本　　淳	家電業務部	日立グローバルライフソリューションズ 株式会社
2022年4月1日	中原　徹幸	家電リサイクル券センター 嘱託採用	―
2022年4月16日	豊久　泰之	家電リサイクル券センター 嘱託採用	JVCケンウッド株式会社
2022年4月16日	野口　　忠	認定センター	シャープマーケティングジャパン 株式会社

◆今後の行事予定

年	月　日	時　間	行　事	主な議題等	場　所
2022	5月19日(木)	15:00～17:00	第39回運営委員会	理事会・評議員会事前説明 各部門報告等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	5月30日(月)	15:00～17:00	第20回理事会	2021年度 事業報告・決算報告 役員候補者・評議員会招集	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	6月15日(水)	15:00～16:30	第19回評議員会	2021年度 事業報告・決算報告 役員改選等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	6月16日(木)	―	理事会書面決議	代表理事(理事長等)選定	
	6月16日(木)	17:30～19:00	第4回家電産業交流会	理事長挨拶	ザ・キャピトルホテル 東急

■□■　定点観測データ　■□

◆家電リサイクル法対象４品目引取実績（３月度）

2022 年3月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	210	104%	3,540	92%
2.テレビ　計	335	95%	3,898	98%
① ブラウン管式	68	76%	785	80%
② 液晶式・プラズマ式	266	102%	3,113	104%
3.冷蔵庫・冷凍庫	306	99%	3,543	96%
4.洗濯機・衣類乾燥機	390	100%	4,281	96%
合　計	1,240	99%	15,261	95%

（うち指定法人）　（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	2	103%	34	89%
2.テレビ　計	24	94%	254	99%
① ブラウン管式	6	77%	68	82%
② 液晶式・プラズマ式	18	101%	186	107%
3.冷蔵庫・冷凍庫	25	100%	282	101%
4.洗濯機・衣類乾燥機	12	118%	108	113%
合　計	63	100%	678	101%

◆家電製品ＰＬセンター相談等受付件数実績（３月）

2022 年3月度の相談受付件数は、134 件（累計 1,765 件）です。
詳細は、家電製品 PL センターホームページのインフォメーションを参照願います。
https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2022 年1月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。
https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasuii202201.pdf

■□■　溜池ボイス　■□■

◆日印国交 70 年

今月 28 日は日本とインドの国交樹立 70 周年を迎えます。日本とインドの交流は古く、6世紀の仏教伝来から始まり、736 年にはインドの僧侶が東大寺の大仏の開眼供養会の為に来日したこともありました。その後、仏教文化を中心としたインド文化は日本に大きな影響を与え、両国は長く親善・友好を育んできました。

また、先の大戦後の極東軍事裁判で、ただひとり日本無罪論を主張したのがインドのラダ・ビノード・パール判事です。その後のサンフランシスコ講和会議には、日本の主権と独立が限定的であったことからインドは参加を拒否し、翌年 1952 年の講和条約で国交樹立、日本に対する全ての賠償を放棄しました。パール氏の功績を称え、1997 年に京都霊山護国神社に氏の顕彰碑が建立されましたが、今では靖國神社内でも同じものが拝観できます。

文化面では仏教発祥の地。古代インドの「梵語（サンスクリット）」を語源とした言葉が日本語となり、以前紹介した「ウラバンナ」は「お盆」。また、神社の「鳥居」の由来となる「トラナ」もインドから伝来した言葉です。しかし特筆すべきは、今や日本食として不動の地位にある「カレーライス」が日印友好の象徴ではないでしょうか。豊富な栄養源が

皿一枚でとれる手軽さから、日露戦争では海軍船内食として用いられ、急速に普及しました。船内が揺れるため、片栗粉でとろみをつけたのが現在の「カレーライス」の起源となります。

ところが、近代になって日本人はとてつもないトッピングを開発します。本場では絶対あり得ない「ビーフカレー」や「カツカレー」など、まさに「インド人もびっくり」。そもそもトンカツって、中濃ソースやデミグラスソースもいいですが、カレーソースと一緒にいただくのが絶品ですよね。カツカレーが生まれたのは戦後間もない 1948 年の銀座。洋食店「グリルスイス」ですが、この発明は日本人にとってノーベル賞級だと思います。

◆◇◆◇◆━━━